

THE JAPANESE SCHOOL OF KUALA LUMPUR

Saujana Resort Seksyen U2, 40150 Shah Alam
Selangor Darul Ehsan, Malaysia
Tel:03-78465939 Fax:03-78465949

平成 29 年 12 月 1 日

保護者の皆様へ

学校代表	折笠 弘維
学校運営理事長	松下 昌浩
学校長	宮谷 真一郎
幼稚部園長	松本 由美子

平成 30 年度の校納金改定についてのお知らせ

前略

平素は、学校運営と教育活動の充実につきまして多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本校では様々な分野において教育活動の更なる充実を図るべく、中長期視点に立ち、教育活動方針や、その具現化に向けた計画を鋭意、検討しております。一方、財政面を振り返りますと、小中学部は平成 27 年度に授業料を改定、幼稚部は平成 25 年度に保育料を改定させて頂いておりますが、昨今の厳しい経営環境下におきまして、双方ともに昨年度に引き続き、本年度も赤字が継続する見通しとなっております。つきましては、この度、学校運営理事会におきまして鋭意検討致しました結果、小中学部の授業料、並びに幼稚部保育料を平成 30 年度より改定させて頂くことと致しました。

保護者の皆様方におかれましては、本校教育活動の更なる充実と学校経営の健全化につきまして、格別なるご理解を賜り、この度の改定に何卒ご協力を宜しくお願い申し上げます。

—記—

1. 平成 30 年度の校納金

(1) 授業料(月額)

小学部	RM1,050.00	(現行 RM860)
中学部	RM1,100.00	(現行 RM900)
幼稚部	RM1,510.00	(現行 RM1,450)

(2) その他校納金

その他校納金(入学金、入園金、学校維持資金負担金、施設設備利用料)は変更なし。

2. 改定の背景

(1) 本校教育活動の更なる充実・強化を支える収入増の必要性

- ① EC(英会話)教育強化を目的に教員を増強します。
- ② 幼稚部に、小中学部で採用している水泳教育を新規に立ち上げます。
- ③ 毎年、新たな教育活動を企画、実施します(理系教育に資するロボットセミナー等)。
- ④ 教育用備品の充実を図ります(体育用マット、バレーボール支柱、電子ピアノ、和太鼓張替え等)。
- ⑤ 子育て支援活動を新たに予算化し、保護者の方や生徒等に対する KL 在住ドクター(日本語可)による定期アドバイスに加え、日本からも専門家を定期的に招聘しカウンセリングの機会を設けます。
- ⑥ 本年実施したインターネット回線の高速化、Wifi 化を最大限に活用し、新たにタブレット端末やディスプレイ等をフル活用した魅力的な授業の充実を図ります。

(2) 児童・生徒・園児数の減少傾向に伴う収支圧迫

本校の日々の教育活動の大半は小中学部一般会計の授業料・保育料によって支えられております。この教育活動費の多くは、教材・教具費や各種行事費、教職員の人件費等に加え、学校の運営・管理の為に費用となっております。児童・生徒・園児数の減少傾向に伴い、各費用削減の努力は致しておりますが、授業料・保育料の増額なくしては教育活動を支えられない状況となっております。

<児童・生徒・園児数推移(各年度 4 月現在)>

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
幼稚部	96	110	89	85	96
小学部	548	587	582	557	523
中学部	165	189	165	180	140

(3) 各種経費の増加

- ① マレーシアの物価が毎年約 3%程度上昇を続けており、加えて 2015 年の GST(消費税)導入の影響もあり、2017 年と 2014 年を比較しますと約 8%の物価上昇となります。
- ② リングットの為替レートが年々低下しており、リングットの対円レートは最近 3 年間で約 20%低下しております。本校が日本において直接採用してくる教職員の給与に加え、その大半を日本にて調達しております教材・教具、教育用の消耗品等の購入価格等が為替悪化の影響を受けて、上昇しております。
- ③ 人手不足の影響や最低賃金の上昇もあり、本校が直接採用しているローカル教職員の人件費が増加しております。また、来年には雇用保険が導入される見込みであり、更なる人件費上昇が見込まれます。

以上、宜しくお願い申し上げます。

草々